

# 精神科専門医研修ネットワークプログラム

## 1 はじめに



臨床と研究をバランスよく学ぶことができる「浜松医科大学精神科専門研修プログラム」を用意しました。特にコンサルテーション・リエゾン精神医学や精神療法や摂食障害治療、そして児童青年期精神医学の指導が充実し、世界トップクラスの精神医学研究にも触れることの出来る大学病院と、精神科救急や心理社会的療法や依存症治療、そして精神科リハビリテーションに代表される、地域精神医療が経験できる市中の医療機関の両方で幅広い研修を受けることができる、学内外の豊富な指導スタッフを揃えたプログラムです。

日本精神神経学会は、精神科専門医の理念と使命としてそれぞれ、「精神医学および精神科医療の進歩に応じて、精神科医の態度・技能・知識を高め、すぐれた精神科専門医を育成し、生涯にわたる相互研鑽を図ることにより精神医療、精神保健の向上と社会福祉に貢献し、もって国民の信頼にこたえることを理念とする」、「患者の人権を尊重し、精神・身体・社会・倫理の各面を総合的に考慮して診断・治療する態度を涵養し、近接領域の診療科や医療スタッフと協力して、国民に良質で安全で安心できる精神医療を提供することを使命とする」と、述べています。「浜松医科大学精神科専門研修プログラム」は、この理念と使命を基に、静岡県内外の多くの医療機関の協力を得て作成したプログラムです。精神科医や児童精神科医を志す多くのみなさんが本プログラムでの研修を考えて下さることを心待ちにしています。

プログラムリーダー 浜松医科大学医学部精神神経科 教授 山末 英典

## 2 目的

精神科の診察や治療の対象となる精神疾患の患者さんの数は非常に多く、実はあらゆる診療科の中でも最も患者さんが多い科の一つだと言えます。また、精神疾患にかかることで患者さんご自身やご家族などの周囲の方が日常生活において受ける影響も非常に大きいものです。患者さんも多く生活への影響も大きいため、社会全体にとっても精神疾患に関する問題は非常に重要です。その重要性の反面、日本では精神疾患や精神医療の重要性が軽視され偏見が持たれやすい風潮がありました。現在はそうした風潮も大幅に改善されてきていますが、それでもまだ精神科にかかることに必要以上に不安や抵抗を感じられている方も少なくないのではないかと思います。浜松医科大学精神科で行っている全ての診療・教育・研究は、患者さん自身やご家族が抱える問題を解決していくことを目的にしています。従って本プログラムの目的は、医学的知見を最大限に活用して精神疾患に関連した問題の解決に全力で取り組める精神科医・児童精神科医を数多く育成することです。そして本プログラムでは、静岡県の医療事情を理解し、地域の実情に合わせた実践的な精神科医療を行うための技術と知識を習得することを目的とし、精神保健指定医、日本精神神経学会専門医の取得を目指すとともに、質の高い専門医の養成を目指します。

## 3 目標

- ① 患者や家族の苦悩を受け止める感性と共感する能力を有し、その問題点と病態を把握し、治療を含めた対策を立てることができる。
- ② 患者・家族をはじめ多くの職種の人々とのコミュニケーション能力を有し専門性を発揮し協働することができる。

- ③ 根拠に基づき、適切で、説明のできる 医療を行うことができる。
- ④ 臨床場面における困難に対し、自主的・積極的な態度で解決にあたり、患者から学ぶという謙虚な姿勢を備えている。
- ⑤ 高い倫理性を備えている。
- ⑥ 医師としてのプロフェッショナルリズムとリサーチマインドの素養を修得する。
- ⑦ 静岡県の医療事情を理解し、地域の実情に合わせた実践的な医療を行えるようになる。

#### 一般臨床コース：

卒後研修の1年目の精神科臨床研修は、精神医学の診断と治療に関する基礎知識と技法を学ぶことを目的とします。研修先は、浜松医科大学精神神経科 指導医 教授 山末英典 他、静岡県立こころの医療センター 指導医 院長 村上直人 他、その他の関連病院※1。

2年目以降は、静岡県立こころの医療センターを含む関連病院にて、精神保健指定医取得※2、日本精神神経学会専門医取得※3を前提として、多様な症例を経験するようにします。

各資格取得後の進路については、個人ごとに希望が違うので、個別の相談に応じます。

- ※1 関連病院は静岡県と愛知県に約30施設（専門医取得のための研修施設認定を受けています）。
- ※2 精神保健指定医は精神保健福祉法に定められた国家資格。精神保健指定医の資格がないと、精神保健福祉法のもとでの円滑な入院治療を行うことができません。指定医の資格を得るには3年間の精神科診療歴を含む5年間の臨床経験が必要で、各種精神科疾患についての症例報告が義務づけられています。
- ※3 日本精神神経学会専門医制度では、5年以上の臨床経験を有する者で、研修施設において研修ガイドラインにより精神科臨床研修を3年以上受け、その課程を修了し、専門医認定試験に合格した者を専門医として認定します。

## 4 特徴

さらなる専門医となるためのコースも併設して用意されています。

### 児童精神科コース（高貝就 教授）

浜松医科大学は平成22年度より、児童青年期精神医学講座を開設しました。このコースでは、世界で通用する児童精神科医を養成します。研修先は、国立病院機構天竜病院児童精神科(病棟、外来) 指導医 部長 山村淳一 他、静岡県立こども病院こどもと家族のこころの診療センター(病棟、外来) 指導医 センター長 山崎透 他、メンタルクリニック・ダダ(児童精神科外来、デイケア・ナイトケア) 指導医 院長 大嶋正浩 他、浜松市子どもこころの診療所 指導医 所長 山崎知克 他などで順次臨床研修を行い、多様な症例を経験するようにします。そして児童精神科専門医、精神保健指定医を取得します。さらに児童精神科の研究に関心がある方は、大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・千葉大学・福井大学連合小児発達学研究所(連合大学院)博士課程(3年間)で研究を行なうことができます。

### 大学院コース

大学院にはいつの時点で入学してもかまいません。院生の間も関連病院の常勤医または非常勤医を兼ねるので、経済的な心配はいりません。

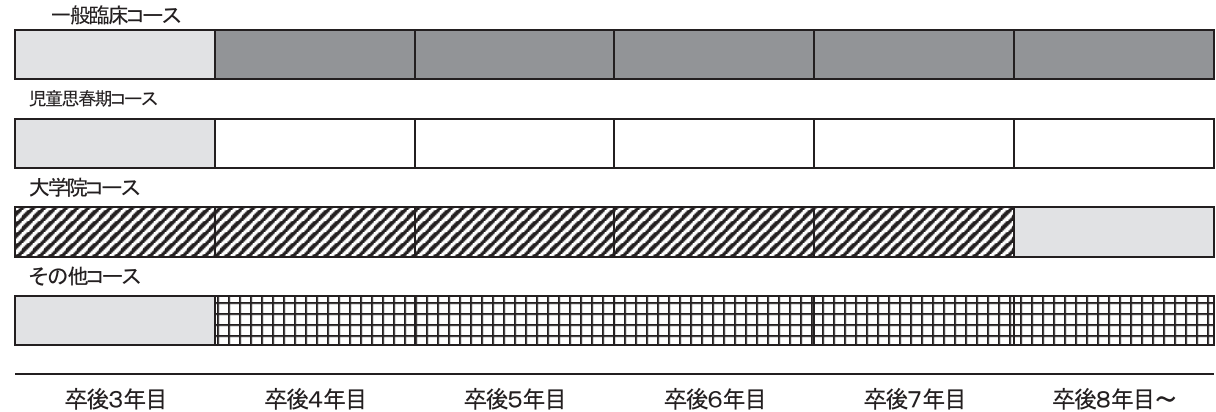
大学院修了後は留学してもよいし、臨床を中心にしてもよいし、研究を中心にしても結構です。

### その他の研修コース

老年精神医学を希望する場合には、希望に沿った進路を設定します。その他の分野の研修(たとえば、てんかんの研修や行政職を希望する場合)についても同じです。

## 5 研修カリキュラム

研修コースの例



 大学病院／静岡県立こころの医療センター／関連病院

 関連病院

 児童思春期専門医医療施設

 大学院

 老人病院、その他の特殊診療施設

## 6 研修例

### (1) 学位と研究

本プログラムでは、本学大学院に所属しながら研修を積むことも可能です。学位は大学院に進んで取得するのが一般的です。本学は、MRI (Magnetic Resonance Imaging: 核磁気共鳴画像) やPET (Positron Emission Tomography: ポジトロン断層法) などの脳画像を使った精神症状の脳内メカニズムの解明や、オキシトシン経鼻剤の様な国内未承認薬の有効性を検証する研究にも力を入れており、世界でもトップクラスの臨床研究の実績を挙げてきたという点も特色です。

### (2) 研修と診療の特色

本学は、国立大学附属病院では唯一の、入院による森田療法を行っている施設です。当院の森田療法の歴史は古く、この治療法に精通した医師や臨床心理士による指導を受けることができます。森田療法以外にも強迫症や気分障害などを主な対象とした複数の認知行動療法や、PTSD や解離性障害などの外傷性精神障害を主な対象とした EMDR (眼球運動を用いた脱感作および再処理法) などの専門的な精神療法も盛んに実践しています。また、摂食障害の治療においては、入院から外来・デイケア・家族教室至る、身体管理から心理的ケアまでの摂食障害の包括的治療について研修することが可能です。摂食障害治療の従事するコメディカルスタッフも多数おり、それぞれの立場から充実した指導を受けることができます。社会復帰事業への参加も積極的です。浜松地区の自助グループやNPO 法人(E-JAN)の活動は全国的に有名で、多くの見学者が訪れています。臨床心理士、看護師、精神保健福祉士、作業療法士の多職種によるチーム医療の研修ができます。また、総合病院の特色を生かし、他科と連携し修正型電気けいれん療法や難治性統合失調症に対するクロザリルによる治療にも積極的に取り組んでいます。

## 7 研修病院群（症例実績を含む）

### (1) 精神科救急(スーパー救急)体制の整備

静岡県の人口は369万人です。県土は広く、東部、中部、西部に分かれますが、いずれの地域にもスーパー救急病院があります。全部で5病院がスーパー救急の認可を受けています(聖隷三方原病院精神科(浜松市)：指導医 部長 西尾優子 他、清水駿府病院(静岡市)：指導医 院長 池上直美 他、静岡県立こころの医療センター(静岡市)：指導医 院長 村上直人 他、沼津中央病院(沼津市) 指導医 院長 杉山直也 他、鷹岡病院(富士市) 指導医 院長 高木啓 他)です。詳しくは、それぞれの病院のHPをご覧ください。このような強固なスーパー救急体制を持つ地域は他になく(スーパー救急施設を持たない地域はまだ多くあります)、静岡県は全国のスーパー救急医療体制のモデルとなっています。

### (2) 社会復帰支援体制の整備

急性期の治療は社会復帰のための治療プログラムとセットでなければなりません。静岡県では、県主導の社会復帰事業に加え、市民レベルの支援が行われていることが大きな特色です。NPO法人E-JAN(浜松市)はその代表的な例です。E-JANには、精神科医、臨床心理士、精神保健福祉士が参加し、市民とともに、障害者を支える活動に取り組んでいます。約10年前に組織され、今や、わが国を代表する支援団体に育ちました。

### (3) 発達障害への革新的取り組み

浜松医大には「子どものこころの発達研究センター」(センター長 武井教使)があり、国立病院機構天竜病院児童精神科(浜松市)、静岡県立こども病院こどもと家族のこころの診療センター(静岡市)、静岡県立こども家庭相談センター(静岡市)、浜松市発達医療総合福祉センター(浜松市)、あいち小児保健医療総合センター心療科(愛知県大府市)と共に、主に発達障害の臨床と研究を行ってきました。平成21年度には、連合大学院が設置され、発達障害に関する教育・研究事業を展開しています。平成28年度には、AMED脳科学研究戦略推進プログラム「臨床と基礎研究の連携強化による精神・神経疾患の克服(融合脳)」の発達障害・統合失調症等の克服に関する研究チームの代表機関に選ばれました(代表・チーム長 山末英典)。このプロジェクトでは、自閉スペクトラム症の中核症状に対する初めての治療薬承認を目指す医師主導多施設治験などを行なっていきます。浜松医大を中心とするチームは、わが国における発達障害の臨床・教育・研究において、文字通りの中核基地として機能しています。

### (4) 物質依存治療体制の充実

覚醒剤やアルコールなどに対する依存は重大な社会問題となっています。その治療や支援には、特別の配慮と工夫が必要です。聖明病院(富士市) 指導医 院長 古川愛造 他、服部病院(磐田市) 指導医 院長 山名純一 他は物質依存に特化した精神科単科病院で、その診療圏は静岡県に留まらず、山梨県、神奈川県、愛知県に及んでいます。また、絃仁病院(名古屋市) 指導医 院長 内藤明久 他は物質依存治療病棟を有し、愛知県内唯一の物質依存専門施設として機能しています。

## 8 研修期間

プログラムの内容に応じ3年以上。